

# 木倉小便り

御船町立木倉小学校  
学校だより  
第6号  
令和3年8月30(月)  
文責：山下

仲間と助け合い 夢の実現へ向けて 挑戦し続ける木倉っ子の育成

## 2学期が始まりました!

コロナ禍の中、いつもと違う夏休み。子どもたちはどのように過ごしただろうと少し心配していましたが、今日の子どもたちは1学期と変わらず元気に登校する姿が見られました。デルタ株など感染力の強いコロナウイルスが猛威を振るっています。自分たちの身の回りにいつやってくるかわかりません。これまで以上に感染対策をしっかり行いながら、子どもたちの笑顔のために、保護者の皆様と協力しながら取り組んで参りたいと思います。1学期同様、保護者・地域の皆様には、ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

### 「笑顔あふれる学校」にするために～粘り強く頑張る～

～始業式の校長講話から～

今年の夏休みは、4年に一度のオリンピックが開催されました。みなさんもテレビで観戦したことと思います。校長先生も毎日いろいろな競技を見て、感動の連続でした。日本は金メダルを27個もとり、史上最多のメダル数となりました。どの選手も一生懸命たかかっていました。

校長先生が一番心に残ったのは、卓球の水谷隼選手と伊藤美誠選手の言葉です。この二人は卓球混合ダブルスで金メダルを取りました。でも、すんなりとれたものではありません。準々決勝でのドイツペアとの試合は、第7セットで、あと後一点で「負け」というところからの逆転勝利でした。相手に1点でも取られると負けるところから粘りに粘って、連続得点し、ついに勝ちました。試合後、水谷選手と伊藤選手が言った言葉は「二人とも最後まであきらめなかった」という言葉でした。相手を信頼し最後まであきらめず、粘り強く勝負したことで、最後には勝利を手にしました。オリンピックまでしっかり練習・準備し、自分たちの可能性を信じて試合に臨んだからでしょう。「粘り強く頑張る」ことの大切さを学んだ試合でした。



さて、2学期が始まります。新型コロナウイルスが猛威を振るっています。何より「命を守る」ことを大事に2学期を過ごしましょう。手洗い、手指消毒、うがいをこまめに行い、室内では必ずマスクを着用しましょう。

また、みなさんは、1学期「笑顔とチャレンジ」を合言葉に頑張りました。「木倉小のあいさつお」のスローガンのもと、あいさつやチャイム席などとてもよくなりました。

2学期は、オリンピックの選手のように「ねばり強さ」を目標に頑張りましょう。「粘り強く頑張ること」の内容は、一人一人違うと思います。自分は何を粘り強く頑張りたいか考えてやってみましょう。

2学期は運動会など大きな行事もあります。また、学習の内容も1学期に比べ、バージョンアップし、少し難しくなるかもしれません。くじけたりあきらめそうになったりすることもあると思います。でも、水谷選手や伊藤選手のように、学級や学校の「チーム」で協力して、困難を粘り強く乗り越え、以前にも増して「笑顔あふれる木倉小学校」を作っていきましょう。

☆お知らせとお願い☆

- 8月22日(日)予定していました親子奉仕作業は、「蔓延防止重点措置」期間中のため、9月26日(日)に延期になりました。保護者のみの実施です。本日文書を配布しております。ご確認ください。

